



4月 「命を尊ぶ当事者として」、 「自立に向かう主人公として輝く板中生」

校長 藤田 賢一郎

～命を尊ぶ当事者として～

「新入生のみなさん、みなさんは新型ウィルス対応で縮小された卒業式で母校を巣立ち、今日また縮小された入学式で中学校へ入学します。大切な儀式が縮小されていることに、さみしさを感じていることでしょう。しかし、さみしく感じる必要はありません。むしろ、誇りに思いましょう。今回の新型ウィルスは、みなさんのような元気な若者が感染しても軽症ですむことが多いようですが、高齢者や持病のある方は重症化し、命を落とすこともある、恐ろしいウィルスです。ですから、ウィルスを広げないことが大切なのです。

みなさんは、儀式を縮小することで、高齢者をはじめ地球に生きる人々の尊い命を救っているのです。命を尊び、命を大切に当事者として、現状とやるべきことを見極めて行動するみなさんを、私たちは誇りに思います」

入学式、式辞の前に、新入生にこのように語りかけました。人生の節目である大切な儀式を、二度も縮小せざるを得ない形で迎える新入生に、「一番大切な命を尊び、救ってくれているあなたは、私たちの誇りです」と、労いと感謝の気持ち伝え、これからも生徒の心に寄り添っていきたく願ったからです。

在校生も、思いがけない臨時休業や部活動等の自粛の中、不安やつらい気持ちを我慢しながら新学期を迎えました。入学式では、全校生徒が、命を尊ぶ当事者として、最高に輝いていました。

～自立に向かう主人公として～

「蝶や蛾の仲間である蚕の幼虫は、繭を作ります。この繭1個で、丈夫で滑らかな絹糸が1200mもとれ、繭300個で大人一人分の着物を作るのに必要な反物1反が出来上がります。

す。技術が進歩しても、化学繊維は未だに絹の滑らかさにはかなわないそうです。

蚕の幼虫は繭の中でさなぎになり、やがてその繭に穴を開けて食べ破り、蝶(蛾)になって出てきます。この蚕が繭を食い破って蝶になるときが大変です。細くても丈夫な絹糸のもとになる糸でできた繭ですから、開けようにも穴はなかなか広がらず、蚕はありったけの力で穴を大きくします。体を伸ばしたり縮めたりするたびに、繭はころころと動くので、早く出たい、苦しいともがいているようにも見えます。

そんな時、繭の穴にハサミで切り口を入れたらどうなるでしょうか。蚕は出口が大きくなったので楽に外の新しい世界に出ることが出来ます。ところが、そうして外に出た蚕は、飛ぶことができません。羽は小さなまま、羽ばたきはできても飛ぶことは出来ないのです。

それもそのはず、蚕は繭から外に出るために、長い時間、一生懸命に自分の体を動かして出口を作るその過程で羽を大きく強くして飛ぶための力を得るのですから。

さて、待ちに待った学校再開でスタートした新学期も早2週間。中学校で過ごす3年間は、集団生活を学ぶとともに、自立を目指す大切な時間です。自立した、なりたい自分に向かう努力を続ける時間、昨年度まで苦手だと思っていたことにも果敢に挑戦する時間など、蚕のように繭を自分で切り拓こうとする時間を過ごしているか、振り返ってみましょう」

新学期初の全校朝会では、自立について話しました。私たち教職員は、自立に向かう生徒たちの挑戦を、誠心誠意、指導、支援します。

保護者、地域の皆様、輝くスタートを切った板中生を、これからもご支援ください。

どうぞよろしく願いいたします。

祝 第74回入学式

令和2年4月7日（火）に、第74回入学式を行いました。まだあどけなさの残る1年生でしたが、希望に満ちた瞳の輝きと、堂々とした呼名の返事が、とても立派でした。新入生誓いの言葉は山下ゆうあさん、歓迎の言葉は生徒会長の古川聖也さんでした。二人とも立派に大役を務めました。

また、入学式の準備を丁寧に行い、新入生を歓迎する気持ちで式に臨んだ2・3年生の素晴らしい姿も印象的でした。



誓いの言葉

新入生代表

山下 ゆうあ さん



暖かな春の訪れとともに、私たちは今日、板倉中学校の一年生として入学しました。今日の日を迎え、喜びと期待で胸がいっぱいです。私は中学校生活をスタートするにあたってがんばりたいことが二つあります。

一つ目は、勉強です。中学校の勉強は内容も難しくなり、覚えることもたくさんあります。授業をしっかりと聞き、家庭学習も毎日七十分以上を目標に、予習復習をきちんとやっていこうと思います。

二つ目は、友達づくりです。たくさんの友達と出会えることは、とても楽しみであると同時に、みんなと仲良くやっていくことができるかどうか、少し不安もありました。しかし、十一月の絆スクール集会で他校の小学校の友達と交流し、先生方や先輩の皆さんが優しく声をかけてくださったおかげで安心でき、中学校入学が楽しみになりました。

今日からは、先輩方をお手本とし、目標に向かって努力していきたいと思っています。先生方や先輩、保護者、地域の皆様、私たち新入生は、伝統ある板倉中学校の立派な生徒になれるようがんばります。これからよろしく願います。



令和2年度

職員紹介

◎1 学年部紹介

金子 均 (理科 学年主任 野球部)
古澤 徹 (数学 1組担任 卓球部)
諏訪加代子 (保体 2組担任 バレー部)
望月 慶理 (技術 1年副任 卓球部)
及川 清子 (教育補助員)



学年の合言葉「誰とでもチーム」を常に意識して、生徒といっしょに活動していきます。

入学直後は緊張感があり固かった1年生ですが、いい意味でも悪い意味でも慣れてきて、柔らかくなってきました。良いことは称え、ダメなことはダメと指導していきます。よろしくお願いします。

◎2 学年部紹介

安藤 正人 (英語科 学年主任・2組副任 陸上競技部)
竹田 雅代 (国語科 1組担任 バドミントン部)
飯塚 尊子 (保健体育科 2組担任 陸上競技部)
三山 裕基 (理科 3組担任 バドミントン部)
大島 通夫 (社会科 1組副任 バドミントン部)
梅川 幸裕 (社会科 3組副任 バレーボール部)



6人で2年生を担当します。今年度も「成長」をキーワードに、一步一步、たゆまぬ努力を続けていく生徒の皆さんを、様々な形で応援していきたいと思えます。2年生は「外」とつながる活動が多くなる学年です。目と心を外に開き、さらに自分を高めていけるよう、がんばりましょう。

中堅学年として、3年生を支え、1年生の手本となる行動ができるよう、支援していきます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。よろしくお願いします。

◎3 学年部紹介

廣瀬 清彦 (音楽科 学年主任・1組副任 吹奏楽部)
上田 貴之 (数学科 1組担任 野球部)
大野 貴之 (社会科 2組担任 卓球部)
鶴巻 華恵 (英語科 特別支援学級担任・2組副任
吹奏楽部)
嶋岡真理子 (教育補助員)



新体制5名の職員でスタートです。新型コロナウイルス感染予防対策のため、例年と異なることが多く、楽しみにしていた修学旅行も10月に延期。例年実施される行事が変更され、様々なことに対して臨機応変に対応することが求められます。こうした中で3年生は手本となるべき行動ができる学年とならなければなりません。生徒のみなさん、そして保護者の皆様のご協力を得て英知を結集し、難局を乗り越えたいものです。

みなさん、どうぞよろしくお願いします。

◎4学年部紹介

藤田 賢一郎 (校長 学校経営 技術)
黒田 匠 (教頭 涉外 地域連携 数学)
丸山 徳子 (教務主任 国語 生活文化部)
石野 幸子 (養護教諭 学校保健 生活文化部)
牛腸 寿美 (栄養教諭 給食 食育)
小出 綾 (事務主任 学校庶務 経理)
ブリタニー (ALT 英語)
横山 重一 (用務員 学校環境整備)



保護者や地域の皆様、1・2・3学年部職員と手を携え、生徒の健やかな成長を導いていくよう、誠心誠意、努力します。

転入職員紹介 ～お世話になります～

10名の新しい職員を迎え、令和2年度がスタートしました。これまでと変わらぬご支援をお願いします。

職名	氏名	前任校等	職名	氏名	前任校等
校長	藤田賢一郎	上越市教育委員会	講師	飯塚 尊子	上越市立城北中学校
教諭	諏訪加代子	糸魚川市立青海中学校	講師	梅川 幸裕	上越市立城東中学校
教諭	鶴巻 華恵	上越市立直江津東中学校	非常勤講師	細井 一貞	上越市立直江津南小学校
教諭	望月 慶理	上越市立直江津中学校	非常勤講師	坪井 泰彦	上越市立大潟町中学校
栄養教諭	牛腸 寿美	妙高市立新井中学校	非常勤講師	増村真紀子	板倉中学校栄養職員

5月の予定

7日(木) 学校再開・学級優先日
12日(火)・13日(水)
19日(火)・20日(水)
教育相談
19日(火) 第1回定期テスト範囲表配付
21日(木) 生徒総会
25日(月) 避難訓練
26日(火) 学級優先日

学級連絡網を廃止し、PTAメールで連絡します

今年度より、学校からの緊急連絡は、学級連絡網による連絡をやめ、PTAメールで行います。PTAメールの登録に全保護者の皆様からご協力いただいたことによって、緊急の連絡を時間差なくお知らせすることができるようになりました。

なお、PTAメールには、送信内容をご確認いただくと「既読」となる機能があります。発信後、数時間もしくは翌日になっても既読とならない場合は、従来通り学校からお電話等で再度お知らせさせていただくことがありますのでご了承ください。

ご理解とご協力をお願いいたします。